

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和6年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	秋川キララホール	指定管理者	株式会社コンベンションリンケージ
指定期間	令和5年4月1日から 令和10年3月31日まで	担当課	生涯学習推進課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類		年間計画（A）	実績（B） （モニタリング時）	対計画比率 （B / A × 100）
業務の 遂行状況	開館日数（日）		305	305	100.0%
	延べ利用者数（人）		48,378	49,449	102.2%
	事業開催 回数	必須事業（回）	5	5	100.0%
		その他事業（回）	9	9	100.0%
収支状況	収入	指定管理料（円）	72,095,100	72,095,100	100.0%
		利用料金収入(売上)（円）	17,771,000	20,116,700	113.2%
		事業収入（円）	15,791,000	19,975,012	126.5%
		その他の収入（円）	-	-	-%
	収入計（円）…①		105,657,100	112,186,812	106.2%
	支出	人件費（円）	29,908,200	35,007,364	117.0%
		維持管理経費（円）	38,870,900	37,375,995	96.2%
		運営管理経費（円）	31,847,000	31,521,899	99.0%
		その他の支出（円）	-	-	-%
	支出計（円）…②		100,626,100	103,905,258	103.3%
	収支（①－②）（円）…③		5,031,000	8,281,554	164.6%
	諸経費（本社運営費など）…④		5,031,000	5,031,000	100.0%
	総収支（③－④）（円）		0	3,250,554	-%

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 年間を通して計画どおりに開館できました。利用者数は来場者の増加により、前年度に比べ1,071人増加しました。	【事業の実施状況について】 主催事業については、必須事業5件、その他事業9件を計画どおり実施しました。自主事業については落語2件、講談1件、アウトリーチ1件、エンタランスロビーコンサート4件、共催ダンスワークショップ・公演1件、あきる野ルピアとの共催1件、「スタインウェイを弾きませんか♪」と「キララホールを使ってみませんか♪」を計7日間、計画どおり実施しました。	【収支状況について】 収入に関しては利用料金収入、事業収入それぞれ対前年度比で増加となり、収入計で予算に対して約653万円の増額となりました。人件費増により支出計は予算に対して約328万円の増額となりましたが、総収支は325万円の黒字となり対前年度比で約284万円の増額となりました。
--	--	--

所管課の評価 (指摘事項)

【開館日数・利用者数について】 年間計画どおり実施できています。次年度も計画どおり開館できるようにしてください。	【事業の実施状況について】 年間計画どおり実施できています。来場者やターゲットとする対象者のニーズを研究し、満足度の高い事業の実施に努めてください。	【収支状況について】 総収支が黒字となっていますが、人件費については年間計画を大きく上回っています。年間計画値を超えないように適切な人員配置に努めてください。
--	--	---

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）			確認資料等	指定管理者の 自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている		日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている		日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の 維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている		各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している		備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない		実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている		危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている		実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している		保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている		ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している		情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている		日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している		利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている		日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている		日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している		広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・ 人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	12人	人員配置計画、実地、出勤簿	12人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	2回/年	研修マニュアル	実施回数2回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者、地域住民の雇用促進に努めている	33.3%	人員配置計画	50.0% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守やハラスメント対策など、労働環境への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿、就業規則等	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記 1、2 の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）

主催事業、自主事業において魅力ある公演を提供することができ、5 公演が満席となりました。この結果、年間の有料公演の来場者数が前年度より約 20%増加しました。あわせてチケット料金の見直しも行い、事業収入を大幅に増加させることができました。

チケット販売システムの本格稼働により、チケット購入における利用者の利便性向上及び業務の効率化を図ることができました。年間でオンラインでのチケット購入の割合が約 53%となりました。また、これによりチケット販売数の増加にも貢献しました。

ホームページのリニューアルが完了し、情報の見やすさや見映えが改善しました。これを機に、きめ細かい情報更新が毎月できるようになり、情報提供サービスの向上につながりました。また、チケット販売システムの導入や館のホームページに他団体等のホームページへのリンク設定を行うことにより、ホームページを起点とした様々な活動への展開も積極的にできるようになり、イメージアップにもつながっています。

2 組のミュージックアンバサダー（音楽大使）の取組として、クアルテット・エクセルシオの「あきる野本願寺お彼岸の日スペシャル（9 月 22 日）」への参加、地域の演奏家との共演による「ウィンター ジョイントコンサート@キララ（12 月 8 日）」の開催、東京大衆歌謡楽団の「キララ音楽大使コンサート（3 月 26 日）」の開催等、地域の音楽文化振興への貢献に努めることができました。

共催事業「パフォーマンスキッズ・トーキョー」の開催に当たり、あきる野市及び日の出町の小中学校、高等学校にチラシ配付の協力をいただき、広く出演者募集、観覧募集を行うことができました。また、9 日間のワークショップと本番公演を通して、地域の子どもへ貴重な体験の場を提供するとともに、家族との感動の場を設けることができました。

以前から運用していた Facebook に加え、Instagram、X の運用も開始し、SNS 全体の掲載回数を前年度の 20 回から 36 回に伸ばすことができました。これにより、公演後のアンケート集計結果の中で、「どこでお知りになりましたか。」の質問項目の回答として「SNS で知った」の回答数に増加傾向が見られました。

所管課による所見（指摘事項など）

利用者数や事業収入が年間計画を上回っており、安定した運営をされています。ただし、支出では人件費が年間計画を上回っていますので、適切な人員配置を行うように努めてください。

チケット販売システムの導入により、利用者がオンラインでチケット購入が可能となったことで、事業収入が増加したほか、利用者の満足度が向上したように伺えます。

引き続き、魅力ある事業の企画や利用者目線で運営の見直しを行うなど、利用者の満足度向上に努めてください。